



第1439回例会 2016年11月1日(火)12:30開会点鐘 番伊にて
ロータリーソング「奉仕の理想」「四つのテスト」唱和

ゲスト 金沢武士団 代表 中野秀光 様

◎11月度のお祝い発表

〈会員誕生日〉

11日 川島光雄さん
15日 中野芳一さん
23日 徳永保さん

〈ご夫人誕生日〉

2日 中出裕美子さん
3日 中越恵子さん
13日 須曾裕美子さん
27日 魚岸志乃富さん

〈結婚記念日〉

2日 木下徳泰・由美子 ご夫妻
4日 所司久雄・育代 ご夫妻
7日 長田紀之 和子 ご夫妻
16日 久保 聡・京子 ご夫妻
21日 山本勝義・尚美 ご夫妻
25日 佐味貫義・慶子 ご夫妻

おめでとうございます!!

第1438回例会(10/25)報告

進行: 中越 SAA

◎開会点鐘

◎会長挨拶 戸田 会長

本日のゲスト、米山奨学生の辛沅夏(シ ウンハ)さん、カウンセラーの七尾 RC 津田文雄さんです。よろしくお祈りします。

地区大会(22日、23日)、お疲れさまでした。入会年度の浅いメンバーの出席がなく、残念に思いました。次年度はたくさんのお祈りをお願いします。

今日は、22日(土)の指導者育成セミナー講演について話します。講師は(一社)日本ケーブルテレビ連盟理事長の吉崎正弘氏で演題は「地域は本当に元気になれるのか?」でありました。ご存知のように、日本は人口減少・高齢化が進み、2040年には市町村の半数以上が「人口消滅可能都市」になることが予測されています。この数字は、昨年、「日本創成会議」(先日東京都知事選に出馬した増田寛也氏が座長)が発表したものですが、もちろん、七尾市も含まれています。この現状を踏まえ、如何にして、日本を元気にしていくかについての講演でしたが、その中で成功事例として、徳島県上勝町を取り上げていました。この町は四国で一番小さい町(人口約1,700人、高齢化比率51.5%)ですが、「葉っぱビジネス」で元気なお年寄りが、がんばっている地域であります。料亭などの料理の「つまもの」として使われる葉っぱを出荷する事業ですが、年間2億6,000万円もの売り上げがあるそうです。何も無いと思っていた地域を見直すことにより、地域の魅力や価値を見出し、地域の逸品を発掘し、それをネットワークで情報発信することにより、地域を元気にできると熱く語っていました。そして最後に「二流の都会づくりをやめて、一流の田舎づくりを目指そう」の言葉で講演を締めくくりましたが、地方に暮らす私たちには、良いヒントになったと思いました。

本日もたくさんのお祈りありがとうございます。

| 月 | 日 | 曜 | プログラム | 週報担当 |
|----|----|---|--------------------------|------|
| 11 | 1 | 火 | ゲスト 金沢武士団 代表 中野秀光 氏 | 山田 |
| 11 | 8 | 火 | 職場例会 花嫁のれん館 (例会:寄合い処みそぎ) | 中野 |
| 11 | 15 | 火 | ゲスト ロータリー財団副委員長 黒川伸一 氏 | 魚岸 |
| 11 | 22 | 火 | クラブフォーラム「グループディスカッション」 | 今井 |
| 11 | 29 | 火 | 会員卓話 寺田 彰 会員 | 多田 |

会 長 戸田 一明
副 会 長 森 仁志
副 会 長 鳥畑 弘
幹 事 寺田 彰
広報ニューメンバーズ委員長 今井 富夫

創立1986年6月15日
RI認証1986年6月26日
【国内第1721】



◎幹事報告 寺田 幹事

- ・地区大会・みのり園まつりの礼状 → 回覧
- ・11月ロータリーレート 1ドル=102円(10月同様)
- ・オーケストラアンサンブル金沢七尾定期公演(11/20)チケット購入(¥3,000)のお願い(10枚あり)

◎委員会報告 松井 地域社会奉仕委員長

七尾特別支援学校「すみれ祭り」(11/19)への出店協力
のお願い → 回覧

◎出席報告 長坂 クラブ奉仕委員

会員総数 47名(内、出席規定適用の免除者4名)出席者 30名
メウ

10/22 指導者育成セミナー(地区大会 1日目:戸田

10/23 地区大会 2日目:戸田、姥浦昭二、佐味、山田、
伊藤、今井、中野、間蔵、中越、多田、鳥畑、松井

◎ニコニコ箱紹介 田中 クラブ奉仕委員長

辛さんのカウンセラー七尾 RC 津田文雄さん

七尾みなと RCの皆さんお世話になります、10月
は米山月間です。米山奨学生辛さんの卓話をお聞
き下さい。

戸田 米山奨学生辛さん、カウンセラーの津田さん
宜しくお願いします。

西野 10月22日(土)無事長男の結婚式を終える事
ができました、ご祝儀、祝電ありがとうございました。
辛さんようこそみなと RCへ

姥浦昭二 佐味パストガバナー補佐・須曾パスト会
長、地区大会での在籍30周年表彰お目出度う御座
います。

中野 同級生の津田君ごくろうさまです。米山奨学
生といえば、ソンさんですよ〜会長!

多田 地区大会へ行って参りました。富山金沢加賀
の友人達に出合う事が出来ました。米山奨学生辛
沅夏さんようこそ!

中越 シン・ウォンハさん日本がだいすきですか?

間蔵 日曜日地区大会ご出席の皆様ご苦労様でした。

山田、松井、今井、森、井田、勝木、長、松野、

寺田、姥浦敏明、山本勝義

米山奨学生辛さん、カウンセラーの七尾 RC 津田
さん、今日はご苦労様です!! ありがとうございます!!

10/25日計 25,000円 累計 439,000円

◎米山奨学生 辛沅夏さん紹介

津田文雄 カウンセラー

◎ゲスト卓話

米山奨学生 辛 沅夏 氏

みなさんこん
ちは。

私は七尾クラ
ブの奨学生辛ウ
オンハと申しま
す。現在北陸先端
科学技術大学院
大学の情報科学
研究科で修士課
程2年に在籍して
おります。出身は
韓国で、韓国で高校を卒業してから、近くて遠い国
日本について、日本の文化を体験し、日本ではどう
いう人々がどういうふうに、どういう考え方に基
づいて生活しているか、更に日本の企業はどのよう
に動いているかなどを体感し、勉強したいという
気持ちで日本に参りました。



本日は卓話のお時間を頂いたので、主に3つのテ
ーマについてお話させていただきたいと思いま
す。まず米山奨学生として7ヶ月間様々な行事に参加し、
ロータリー会員の方々と交わりながら感じたこと
についてと、私の修士研究課題である自然言語処理に
ついて、最後にはオープンソースと無料教育プラッ
トフォームについて少し話させていただきたいと
思います。

今年の4月からロータリーの米山奨学生になり、
あっという間に現在10月になりました。今年からは
このように米山奨学生として選んで頂いて、経済
的な面での負担はあまり感じず、勉強と研究に取り
組めるようになったことをいつも感謝しています。

7ヶ月間七尾ロータリークラブの奨学生として毎
月例会やお祭りなどに誘われ、カウンセラーの津
田さん、またロータリー会員のたくさんの方々とお
話できたのは、私にとっては今年最大の幸いの一
つでございます。私にとって七尾ロータリークラ
ブの例会はクラブの活動報告を聞くだけでなく、
毎回ロータリーソングや「四つのテスト」提唱
などを通して、ロータリアンとしての心構えを確
かめるなど、ロータリアンとしての目標や意義を
もう一度考えさせて頂く時間となっていました。

また、七尾クラブで出会った方々からは、日本
に来てあまり聞いたことのない、私の人生にお
いても一生覚えておきたいお話などを聞かせて
頂いたこともあります。世界平和を望むロー
タリアンとして語ってくださったその方には、
私も是非見習って自分自身と国について深く
考察し、これからはさらに好

意と友情を持って人に接していく人になっていきたいと思うようになりました。さらに、七尾クラブの活動を隣で直接見させて頂きながら、学部の際はバイトと授業で、修士課程に入ってからには研究で忙しいという言い訳で、ほとんど自分のことだけを考え、人間関係・社会問題などについてはあまり深く考えようとしなかった自分の姿を反省したこともあります。ロータリアンの方々からは、経済面での支援だけでなく、このような考え方や精神を見習えるということが、米山奨学生としては最も幸いなことではないかと思いました。

ここから少し、テーマを変えて、現在大学院で取り組んでいる研究の紹介を短くさせていただきたいと思います。研究テーマとしては自然言語処理という分野の研究に取り組んでいて、この自然言語処理とは、人間が日常生活で使用する日本語、英語、などの自然言語をコンピュータに理解させる技術のことです。研究室では自然言語処理、特に大量のテキストを活用した自然言語処理の研究に取り組んでいます。例えば、自然言語解析といって、文の意味をコンピュータに理解させる技術の開発に取り組んだり、このとき、実際に使われている大量のテキストから、例えば毎日新聞の過去10年間のすべての記事から、文を解析するための知識をコンピュータに学習させたりします。

応用研究としては、製品やレストランなどのレビューを分析する評判情報分析や、発信者情報を提示する検索エンジン、コンピュータと雑談できる自由対話システムなどの研究に取り組んでいます。

現在取り組んでいる研究について簡単に説明させていただきます。現在は自然言語処理という研究領域の中で特にテキスト自動要約という分野の研究に取り組んでいます。テキスト自動要約とは、原文書に含まれた情報から重要なものだけを自動的に簡潔にまとめる処理であり、ます。インターネットの普及と共に膨大な情報に・様々な文書に容易にアクセスできるようになった近年では、入手した情報・テキストから必要となる情報だけを速やかに選別することが重要になっています。このような要求に応じて、自然言語処理の研究分野においても、このテキスト自動要約の研究が盛んになっています。

例えばインターネットにある新聞記事をコンピュータが自動要約して、いつ、どこで、何が、どうやって、起こってその結果どうなったかだけを短く出力できるようにする研究分野をテキスト自動要約と言います。この自動要約の手法は実は元の文書の種類や特性によって違って来まして、例えば、入力文

書が独特な文書構造や特性を持っている場合には、そのような特性を利用することでより綺麗な要約の作成できるということが知られています。独特な文書構造を持つ文書の例としては、学術論文が挙げられ、この学術論文を対象とした自動要約の研究を私は行っています。

グーグルやヤフーなどで検索したことがある方はご存知かと思いますが、現在の検索は検索に使った単語とマッチする文書をそれを読んだ人が多い順に表示してくれるだけです。論文の検索も同じでして、例えば自然言語というキーワードで検索をすると自然言語という単語を含んでいる論文を上から順番に羅列してくれるだけになっています。これはコンピュータがその論文の内容を理解してないため、検索をした人がどういう目的でどういうドメインの論文を探しているかわからず、ただ単に検索語にマッチした文書を表示してくれるだけになるのですが、テキスト自動要約の技術を応用することによって、コンピュータがインターネット上にある膨大な文書の内容を理解した上で、使用者が必要とするだろうという文書のみを表示してくれることも遠くない未来には可能になると思っています。

最近では自然言語処理の文やに限らず、このような人工知能分野の研究と関連している社会 issue として、何年か前から話題になっているビックデータや機械学習、IoT やクラウドなどもこの一連の話とつながっている部分がございます。また先日はソフトバンクのソニー社長が社長職を退任せず、もう少し働きたいと言いながら AMD という会社を買収したのもこのような研究分野の潜在可能性に注目したからではないかと思えます。

ある人は、このソフトバンクの AMD 買収を、囲碁の戦略に比喻しながら、今までの企業にはなかった斬新な挑戦であると評価しました。また今年の春にはアメリカのグーグル社が作った人工知能の囲碁棋士がトップクラスのプロの騎士に買って話題となりましたが、たった2、3年前までも囲碁というゲームは論理的な思考力だけでなく直感など高次元の思考能力が必要となるためコンピュータが上手に囲碁をするには無理があるという声も多かったことを考えると人工知能の発展速度に驚きます。

一角ではこのような発展を指数増加と呼ぶ人もいます。人工知能分野の発展の速度をグラフで書くと直線形の線ではなく、指数グラフのように急激にますます増加する形のグラフになるので、5年後10年後の発展度をは来ることが難しいということです。人工知能の急激な成長を信じている人の中には、

2040年を前後として人工知能が人間の知的能力を上回ることになり、様々な分野の研究も人間の代わりにコンピュータが自ら行うことになるという人もおり、さらに2年ぐらい前の新薬開発コンテストで、人間が作った薬より良い薬をコンピュータが作って優勝したことなどを考えると、そのような人たちの主張も無理な主張ではないとおもいます。ラフな言い方ですが、10年前の2006年には、3年後の2009年には多くの人がスマートフォンを使ってどこからでもインターネットにアクセスし、携帯がコンピュータと大して変わらないものになると予測した人はいなかったんですね。

このような人工知能の発展に恐ろしさを感じ、未来は人工知能によって人間は支配されるのではないかと語る人たちもいますが、私はこの人工知能の一部分を勉強し研究している人として、またこの後の10年20年をそのようなプログラムを作って社会に貢献したいという人として明るい面もあると考え、その中の一つの部分を最後に少しお話したいと思います。

コンピュータの文やでは90年代からオープンソース活動というものが盛んになっていまして、このオープンソース活動とは、ある製品を開発する過程で必要となった設計図やプログラムのコードをだれでもどこでもアクセスし、閲覧できるように公開することを言います。またこれを単に公開するだけでなく、公開された技術を使って誰もがより改良した製品を作りそれを商売に利用することまで条件付きなして許すこともあります。例えばマイクロソフトのエクセルプログラムはオープンソースではないので、そのプログラムがどういうふうにして作られたか、その中身を見ることができませんが、オープンソースのプログラムの場合、その中身が見られるので、研究をする人も、小学校や中学校の学生も技術力さえあればそれを見てより進化したプログラムを作り、商売することができるようになります。人工知能分野の研究においてもこのオープンソース活動をしている人がいて、例えばグーグルの人工知能技術などに誰もがアクセスできるようになっており、このような活動が世の中を豊かにし、より良い道へ導いてくれると考えています。

またプログラムの無料公開だけでなく、このオープンソースという活動を行っていた人たちが中心となって、大学の講座も無料でインターネットを通して公開し、誰もがどこでもその講座を聴講できるようにしようとする運動もあります。MOOCとも呼ばれるこの運動のおかげでアメリカのハーバードMITなどの有名な大学や、日本では東京大学の有名な先生などの講義をお金のない人であっても世界どこからも無料で見られるようになりました。私は学部の時とは異なる専攻だったので、このMOOCなどを利用して足りない情報知識を補いながら勉強したりしていました。

そのため修士課程が終わってからは、私が研究したシステムをできればオープンソース歌詞、必要な人が使えるようにし、オープンソース活動に貢献したいと思っています。

今回は短い時間ではありましたが、米山奨学生としての6ヶ月間の感想、私の研究課題とそれに関する社会issue、最後にオープンソースと無償教育について話させて頂きました。私自身もこれからロータリーアンとしての精神を引き継ぎ、社会をより良いものにしていきたいと思っています。ご清聴ありがとうございました。



◎閉会点鐘

〔週報担当：西野〕

次週予告

11月8日(火) 12:30開会点鐘 寄り合い処みそぎ

(現地集合)

職場例会 花嫁のれん館

今週の例会担当者： 辰田、中越、久保、長坂、大森 (11/1)

次週の例会担当者： 浜田、伊藤、徳永、中出、宮川 (11/8)